

各福祉委員会の活動

2



01

北部地区 各福祉委员会活动



01

北部

- 井ヶ谷多世代交流委員会
- 東境福祉委員会
- 西境ふれあい推進委員会
- 今川福祉委員会
- 今岡福祉委員会
- 一里山福祉委員会
- 一ツ木福祉委員会
- 築地福祉委員会

サツマイモ事業

活動概要

- ・サツマイモの苗植えから収穫までを行う。
- ・子どもから高齢者までの幅広い世代で一緒に行っている。

活動に至った背景（課題）

- ・市から期間限定の補助金をもつらて始まった活動。参加者からも好評だったこともあり、活動を継続するため、福祉委員会として支援することとなった。



新春ウォーキング (R6年度)

活動概要

- ・福祉委員会で実施している「サツマイモ事業」で収穫したサツマイモを焼き芋にして提供。

活動に至った背景（課題）

- ・子どもと高齢者が関わる機会の場の提供を行いたかった。



歴史を学ぼう

(R5年度)

活動概要

- ・東境地区の歴史に関する勉強会を開催。
- ・今後の活動の参考にするため、福祉委員会として取り組んでほしいことなどをアンケート調査を実施。

活動に至った背景（課題）

- ・構成員より「いきいきクラブで勉強会を以前開催した際、少人数であったため、福祉委員会で開催したい」という意見があったため、開催。



防災すごろくであそぼう (R6年度)

活動概要

- ・防災を題材としたすごろくゲームや防災食作り等を行うイベントを開催。
- ・子どもから高齢者まで幅広い世代が参加した。

活動に至った背景（課題）

- ・「子ども食堂」を開催したかったが、衛生面や経費の問題からなかなか実現に至らなかった。
- ・「刈谷市赤十字奉仕団」が地域活動をしたいという思いを持っており、福祉委員会として協力することにした。



ボッチャであそぼう (R7年度)

活動概要

- ・自治会イベントにボッチャスペースを福祉委員会で用意し活動。
- ・子どもから高齢者が参加し、交流を図った。

活動に至った背景（課題）

- ・自治会イベントと一緒に福祉委員会活動を行い、福祉委員会のPRを行った。
- ・普段、自治会イベントに参加しない方が参加できるようにボッチャを行った。



認知症ってなあに？ (R7年度)

活動概要

- ・「認知症サポーター養成講座」を刈谷富士松地域包括支援センターに依頼し開催

活動に至った背景（課題）

- ・認知症について、学ぶ場がなかった。
- ・認知症の方への対応や予防等を学びたいとの意見がでたため。



サツマイモ事業

活動概要

- ・サツマイモの苗植えから収穫まで行う。
- ・「子ども会」と「あじさいクラブ（いきいきクラブ）」が協力し実施。

活動に至った背景（課題）

- ・子どもと高齢者の交流の場を提供したかったため。



コスモス祭り

活動概要

- ・ 地区にあるコスモス畑にて「コスモス祭り」を開催。

活動に至った背景（課題）

- ・ 福祉委員会活動とすることで、他団体も活動参加するきっかけ作りを行った。



ひまわりの苗植え (R7年度)

活動概要

- 地区にあるコスモス畑の隣にひまわりの苗を植える。中学生にも手伝っていただき、地域の方と交流する場を提供。

活動に至った背景（課題）

- 地区の方々が苗植えをしていたが、中学生に苗植え体験をしていただきつつ、地域の方々と交流をするため。



お汁粉の配布 (R7年度)

活動概要

- ・自治会イベントに福祉委員会ブースとしてお汁粉の提供を行った。

活動に至った背景（課題）

- ・福祉委員会という組織が地区に浸透していなかったため、自治会イベントへ参加することとなった。



子ども会応援企画活動

活動概要

- ・「子ども会」に加入してる子ども達向けに、夏休みの宿題を教えたり、工作、読書感想文などのお手伝いをする活動。

活動に至った背景（課題）

- ・「子ども会」の加入率が下がっており、「子ども会」に加入してるメリットを、福祉委員会として伝えていこととなった。



防災講演会

(R6年度)

活動概要

- ・刈谷市危機管理課の職員を招き、災害についてと避難行動についての講演会を開催。

活動に至った背景（課題）

- ・災害が起きた時にどのように対応していいのかわからないとの意見が出た。
- ・災害について地域住民に学んでほしかった。



ボッチャ体験会・大会 (R7年度)

活動概要

- ・福祉委員会主催で「ボッチャ体験会・大会」を開催
- ・「子ども会」のクリスマス会と兼ねて行った。

活動に至った背景（課題）

- ・自治会で実施していた、多世代交流を目的としたグランドゴルフ大会がなくなってしまったため、福祉委員会として多世代交流を目的とした活動を行うこととなった。



認知症講演会

(R7年度)

活動概要

- ・ 赤十字奉仕団愛知県支部より講師をお招きし、認知症についての説明と、介護技術についての演習を行った。

活動に至った背景（課題）

- ・ 認知症について学ぶ機会が欲しかった。
- ・ ベッド上での起き上がりや、ベッドから車いすへの移動方法についての介護技術を知りたかった。



コミュニティカフェお結び

活動概要

- ・毎月第4木曜日に市民館にて開催。
- ・参加費（100円）をいただき、コーヒーやお菓子を提供。また、理学療法士による講話・体操を実施。

活動に至った背景（課題）

- ・高齢者が集まれる場所を作りたかった。



子どもカフェ

活動概要

- ・ 地区の子どもを対象とし、夏休み等の長期休みに開催。
- ・ お菓子を食べたり、レクリエーションを実施。
高齢者も招待し、子どもと高齢者が関わる機会を提供。

活動に至った背景（課題）

- ・ 「子ども食堂」だとハードルが高かったため、カフェ形式で実施。



他地区から学ぶ防災研修会 (R6年度)

活動概要

- ・他地区の福祉委員会会長を招き、要支援者への対応や防災に関する講演会を開催。

活動に至った背景（課題）

- ・他地区の福祉委員会活動を聞き、活動の幅を広げる。
- ・要支援者へのアプローチの仕方を学びたかった。



防災研修会 (R7年度)

活動概要

- ・ 避難場所の確認。
- ・ 地区内にある5つの自主防災会の活動報告。

活動に至った背景（課題）

- ・ 地区内に5つの自主防災会が存在するため、各活動の情報共有が必要であった。
- ・ 地区住民に自主防災会の活動を知ってもらうため。



ボッチャであそぼう (R7年度)

活動概要

- ・多世代交流を目的とした、ボッチャを開催。
- ・雁が音総合スポーツクラブにも協力していただき、スタッフとして参加してもらった。

活動に至った背景（課題）

- ・子どもから高齢者が関わる機会が少なかったため。

